

劇 動物用医薬品 250mL

日生研EDS不活化ワクチン

(産卵低下症候群-1976(アジュバント)不活化ワクチン(シード))

有効成分(ワクチン1本中)
産卵低下症候群-1976 ウイルス 製造番号
BK-87株(シード)
(不活化後赤血球凝集力価) 最終有効年月
512HAU以上

貯法 2～10℃暗所

注意 獣医師等の処方せん・指示により使用すること。

使用説明書

使用前に必ず本使用説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい。

【製法及び性状】

本剤は、産卵低下症候群-1976ウイルスBK-87株を増殖させた発育鶏卵の尿膜腔液にホルマリンを加えて不活化し、さらに水酸化アルミニウムゲルを加えたものである。本剤は静置の状態では沈殿を認めるが、振り混ぜると黄白色ないし緑黄白色不透明の均質な懸濁液となる。pHは7.5～8.3である。

【成分及び分量】

ワクチン1本(250mL)中、産卵低下症候群-1976ウイルスBK-87株(シード)(不活化後赤血球凝集力価)512HAU以上、ホルマリン0.5mL以下、水酸化アルミニウムゲル アルミニウム量として 250mg～750mg、リン酸緩衝食塩液 残量

【効能又は効果】

産卵低下症候群-1976の予防

【用法及び用量】

60日齢以上の鶏の筋肉内に0.25mLを注射する。

【使用上の注意】

(一般的注意) (1) 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。(2) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。(3) 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。(4) 本剤はシードロットシステムにより製造され、国家検定を受ける必要のないワクチンであるため、容器又は被包に「国家検定合格」と表示されていない。

(使用者に対する注意) (1) 誤って人に注射した場合は、患部の消毒等適切な処置をとること。誤って注射された者は、必要があれば本使用説明書を持参し、受傷について医師の診察を受けること。

本ワクチンの成分の特徴

微生物名	抗 原		アジュバント	
	人獣共通 感染症の当否	微生物 の生・死	有	無
産卵低下症候群-1976ウイルス	否	死	有	アルミニウムゲル

(本ワクチン株は、不活化されており感染性はない。)

本ワクチンに関するお問い合わせは下記までお願い致します。

日生研株式会社 製品係

T198-0024 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1

TEL 0428-33-1009、FAX 0428-31-6696

(2)作業後は、石けん等で手をよく洗うこと。

(反対側の説明事項も必ずお読み下さい。)

日生研株式会社 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1

劇 動物用医薬品 250mL

日生研EDS不活化ワクチン

(対象鶏に対する注意)

1. 制限事項

(1) 本剤の注射前には健康状態について検査し、重大な異常(重篤な疾病)を認めた場合は注射しないこと。

(2) 鶏が、次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質等を考慮し、注射の適否の判断を慎重に行うこと。

- 元氣消失、食欲不振、発熱、下痢、呼吸器症状又は重度の皮膚疾患など臨床異常が認められるもの。

- 疾病の治療を継続中のもの又は治癒後間がないもの。

- 明らかな栄養障害があるもの。

- 他の薬剤投与、導入又は移動後間がないもの。

(3) ワクチン注射後は、飼育管理に十分に注意し、鶏に与えるストレスの軽減に努めること。

2. 副反応

副反応が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

3. 相互作用

本剤には他の薬剤(ワクチン)を加えて使用しないこと。

4. 適用上の注意

(1) 注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと(ガス滅菌によるものを除く)。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、常温まで冷えたものを使用すること。(2) 本剤容器のゴム栓は、70%アルコールで消毒し、滅菌済みの注射針をゴム栓から刺し込み、ワクチンを注射器内に吸引して使用すること。ゴム栓を取り外しての使用は、雑菌混入のおそれがあるので避けること。(3) 注射部位は消毒し、注射時には注射針が血管に入っていないことを確認してから注射すること。(4) 雑菌による汚染を防ぐため、時々注射針を取り替えること。(5) 注射部位を厳守すること。

【取扱い上の注意】

(1) ワクチン容器は破損するおそれがあるので、強い衝撃を与えないこと。(2) 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。(3) 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。(4) 開封時にアルミキャップの切断面を手指を切るおそれがあるので、注意すること。(5) 使用時よく振り混ぜて均一とすること。また、使用中も時々振り混ぜること。(6) 一度開封したワクチンは速やかに使用すること。使い残りのワクチンは雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。(7) 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。(8) 使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

【保管上の注意】

(1) 小児の手の届かないところに保管すること。

(2) 直射日光又は凍結は、品質に影響を与えるので避けること。

【貯法及び有効期間】

1. 遮光して、2～10℃に保存する。

2. 有効期間は、製造後2年3か月間である(最終有効年月は表面に記載)。

【包装】

1本 250mL

[2013年7月改訂]

日生研株式会社 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1